

2021年6月1日

各 位

東京特殊電線株式会社

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性を高め、取締役会の機能向上を図ることを目的とし、2020年度における取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

なお取締役会の構成に関しては、コーポレートガバナンスの更なる充実化を図る目的から、2020年6月25日開催の当社第102期定時株主総会において、必要な定款変更等について承認いただき、監査等委員会設置会社へと移行しております。

1. 評価方法

すべての取締役（計8名）を対象に、無記名式アンケート（複数選択肢による択一回答及び意見欄を設定）を実施しました。その回答結果を踏まえ、取締役会において全員で議論を行い、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。

（質問票の項目）

- (1) 取締役会の構成に関する質問（構成人数、多様性、社外取締役の人数・割合等）
- (2) 取締役会の運営に関する質問（開催頻度、情報提供、議論の活発度、会議の雰囲気等）
- (3) 取締役会の議題に関する質問（議題の選定・提案時期、審議時間、ガバナンス・リスク等）
- (4) 取締役会を支える体制に関する質問（情報入手機会確保、取締役の研修等）

2. 評価結果

当社取締役会は、上記質問項目(1)から(4)について総じて取締役会の実効性が確保されていると評価いたしました。特に中期経営計画の策定については、複数回の取締役会において議題として取り上げ、各取締役からの指摘事項についても翌月の取締役会で報告を行う等、十分な審議時間の確保と議論の充実化が図られました。

一方、取締役会の構成の多様性確保に関しては、引き続き課題であると評価しました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、上記分析・結果を踏まえて、中期経営計画に関しては、特に経営の方向性については今後も議論を継続してまいります。取締役会の構成の多様性確保については、検討を進め、多面的な視点からの助言や監督により、取締役会の実効性向上に努めてまいります。

以上